

新設住宅着工数10カ月ぶりの増加

国土交通省が5月31日発表した4月の新設住宅着工戸数は8万4226戸だった。

前年同月比0.3%増となり、10カ月ぶりの増加となった。分譲住宅が前年同月比5.0%増で全体を押し上げたかたち。

持家と貸家はそれぞれ前年同月比1.9%減、2.1%減と減少が続く。持家は3カ月連続、貸家は11カ月連続の減少となった。実数ベースで持家は2万3289戸、貸家は3万5447戸。



情報提供: 国土交通省

宅配ボックスの優良住宅部品認定基準を改正

一般財団法人ベターリビングは5月31日、「戸建住宅用宅配ボックス」及び「集合住宅用宅配ボックス」の優良住宅部品認定基準を改正し、同日付で施行した。付加認定基準として、**「供給体制として、認定品を普及拡大する仕組みが確保されていること。」**を求め、これを満たす製品をBL-bs (Better Living for better society) 部品として認定するもの。

そのほか、「集合住宅用宅配ボックス」の優良住宅部品認定基準については今年3月30日付の改正で、これまでの「単独型」に加えて、アパート等の低層集合住宅において独立した宅配ボックスを複数世帯が共同で利用できる「共用型」を新たに定義付けて対象とした。また、宅配ボックスの管理について、居住者でなく管理会社や集合住宅のオーナー等第三者が管理者となることを明確にし、製品本体の外部に緊急連絡先を表示する旨、取扱説明書等で情報提供することを義務付けた。

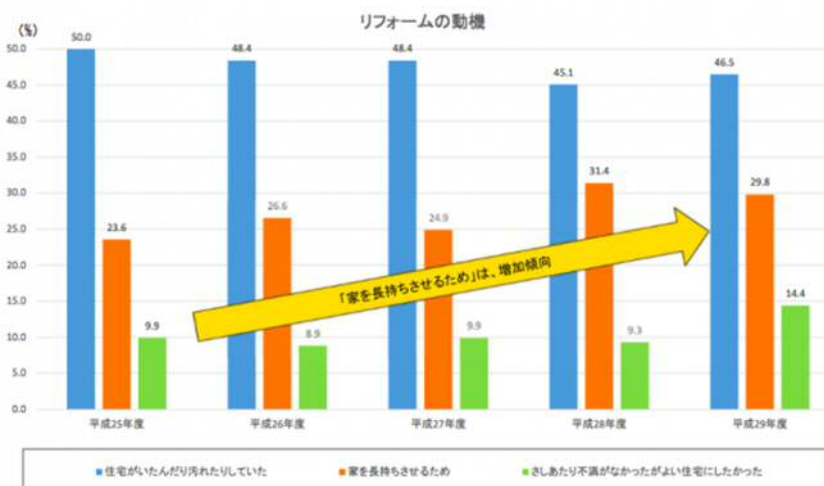
【BL-bs マーク証紙のイメージ】



情報提供: 新建ハウジング

リフォーム動機「家を長持ちさせるため」が増加傾向 住宅市場動向調査

国土交通省は5月30日、2017年度の住宅市場動向調査の結果を発表した。住み替え・建て替え前後の住宅やその住宅に居住する世帯の状況、住宅取得に係る資金調達の状況等について把握することを目的に実施したもの。



リフォームの動機を見ると、「住宅がいたり汚れたりしていた」が46.5%で最も多く、次いで「家を長持ちさせるため」が29.8%、「台所・浴室・給湯器などの設備が不十分だった」が27.3%だった。「家を長持ちさせるため」は前年度に比べると微減となったものの、この5年間で見ると増加傾向が続いている。

情報提供: 新建ハウジング